

投資用マンション以外の物件開発

アーバネットコーポレーション 老人ホームも竣工

▶チャーム・ケア・コーポレーションと協業で開発した老人ホーム



東京都心部で投資用マンションを主力に開発を行うアーバネットコーポ

レーションは、2024年には事業開発部を設立。投資用マンションの開発を行う都市開発部と、それ以外の物

件開発を行う「アーバネットコーポレーション（東京都千代田区）はファミリー向けマンションや老人ホーム、ホテルなど事業用施設の開発を本格化する。

2024年には事業開発部を設立。投資用マンションの開発を行う都市開発部と、それ以外の物件を開発する。

物件の幅を広げること、駅から10分以上で収益不動産の開発に適さない土地であっても開発できるようなった」と話す。

仕入れにおいて2部署が情報を収集すること、互いの開発に施した土地を融通し合うことで、互いの開発に施した土地を融通し合うこと、事業開発部は精鋭社員3人を配属。年間5〜6件の土地を仕入れている。



アーバネットコーポレーション 代表取締役 会長

事業開発部が手がけた案件としてはファミリー向けマンションを1棟、老人ホームを1棟竣工（5月末時点）。ファミリー向けマンションは、東武東上線有楽町線、都立大駅から徒歩1分の場所に、25年10月に竣工した。同年11月から入居者募集を開始。しかし、申し込みが足りず、ためいった募集を止め、賃料を上げたうえで再度募集をかけるほどの人気物件になったという。

地下と地上部分でメゾネットタイプになっている点特徴だ。これにより、メゾネットではない場合より容積率を約30%増やし、収益性を高める。一方、投資用マンション以外の物件開発への投資額は全体の2割以内にと抑えているという。

老人ホームは介護事業を展開するチャーム・ケア・コーポレーション（大阪市）と協業で開発し、26年3月にオープン。これまでアーバネットコーポレーションが手がけてこなかった介護事業に力を入れる、という方針を打ち出している。